

「京都大学 学びコーディネーターによる出前授業」に参加しました！
『「正義のヒーロー」が「自由」の敵となる時があるか？－政治学入門－』

10月22日(木)放課後に、32名の意欲ある生徒がZoomによるリアルタイム配信授業に参加しました！これは、京都大学が高大接続・高大連携活動の一環として、全国的に展開している学びコーディネーター事業『「正義のヒーロー」が「自由」の敵となる時があるか？－政治学入門－』に申し込みを行ったものです。

【授業テーマ内容】

《京都大学学びコーディネーター 提供授業一覧より抜粋》

- ・「自由」や「正義」に関する「政治学」的な議論の紹介
- ・日常生活や身近な人間関係に関する事例や、エンターテインメント作品をとり上げることで政治学の論点をわかりやすく紹介
- ・政治学についてのイメージを掴むと同時に、日常的な違和感や関心が大学の学問として発展する仕方を知る



Zoomによるリアルタイム配信授業

本校は東京都からの指定事業である「理数研究校」に指定されており、理系研究者の講演会を従来より実施してきましたが、今回の内容のような政治学の講演会はあまりなく、大変貴重な機会になりました。また講演会実施後の校内での反響もとても大きいものでした。特に講演会後の質疑応答で、本校1年生の生徒の質問に対し、講師の高橋さんから「1年生徒とは思えない質問ですね」と評価のお言葉をいただいたことが、参加者全員の自信にもつながったようです。これを機に活発に質疑応答が行える生徒が増えていくことを期待しています。講師の高橋侑生さん、京都大学の関係の皆さま、本当にありがとうございました！

【参加生徒の感想】

- ・「正義のヒーロー」と「自由の敵」が紙一重なのと同じように、自由と安心安全な生活も紙一重なのだと思います。絶対に正しいものなどないのだと心に留めて、生活していきたいです。
- ・先生に紹介していただいた映画を授業後初めて視聴しました。この映画によって授業の内容がより深く心に残ったように思います。
- ・一人一人が「自分の正義、大衆の正義」について考えをめぐらせる重要さを知りました。
- ・今回の講義前までは、クラスの中で多数決をする時に「なんとなく多数派にいたほうが正しい」「安心」とか「少数派だったらちょっと恥ずかしい」などと思っていました。しかし「少数派にも正しい答えを言っている人がいる」ことを知り、「自分が少数派なら、意見を言ったほうがいい」と思うようになりました。
- ・講演内容を友人と議論することで新たな発見があり、とても良い刺激になりました。「なんとなく」で済ませていることにしっかりと目を向け考えていきたいです。
- ・「政治学」に興味を持ち、大学進学が楽しみになりました。
- ・正義と言う言葉を深く掘り下げていく「過程」とその中で生まれる「問い」への向き合い方が非常に興味深く面白かった。特に「正しいルールとは理性的な人間であれば誰もが納得できるルールである」という考え方が、解釈に個人差が出ないと言う点ですごいと思った。だが僕はこの考え方が通用する場所が少し限定的であるように感じた。人は育った環境などの影響を受けて正義に対する考え方を身に付けていくので、正しいルールの定義がきちんとその力を発揮するのは「その定義が作られた文化圏と同じ」か、「もしくはそれと

よく似た文化圏の中のみである」と考えた。

- ・「理性的な人間が納得できる、これが正しいルール」。僕はその理性とは何を基準にしているのかと聞いた。先生は「それすらも人によって違いがあり、それを考えていくのも政治学」と言ってくれた。このような講演があるときは積極的に参加したい。



講義に引き込まれました！

・私は学校行事の内容について多数決で決めるのにはとても不満を感じていた。しかし今日の授業を受け、みんなには「少数意見を大切にしながら多数決をしてもらえれば不満を少しでもなくせる」と思った。今日の授業は生きる上ですごく大切だと感じた。もっと多くの人に知ってほしい内容だった。

・「事実と価値」について考え、小さな事でも適当にせず「自分の中で答えが出るまで探究」しようと思う。

・今までの学びとは全く違いとても難しい内容でしたが、「考えること」がとても楽しく思いました。今回の授業を通して大学進学への意欲がより大きくなりました

・「正しいルールについての合意は困難」という点に興味を

持った。学校生活において、校則は人によって厳しいと感じる人もいれば逆に緩いと感じる人もいる。校則を決める人はもちろんそのような事は理解していると思うが、だからといって校則をなくしてしまうと人々が皆自由ではあるものの問題などが起こる。その校則をよく思わない人もいるのは承知で作っているのだと思う。

- ・これからも様々な領域の学問について積極的に学び、視野を少しでも広げたい。この授業から大学の雰囲気ほんの少し分かった気がした。大学生活ではこの政治学の授業で学んだことを活かして議論しよう。
- ・「人々が関係性を維持するためにはルールが必要」これを今の日本に照らし合わせながら聞いていました。
- ・「自分が正しいと思う事でも誰かが傷つくような事はしない。自分の正しさを人に押し付けない。誰かの正しさを頭ごなしに否定しない。」これらは全部誰かへの優しさから来る行動で、これらの行動から考えられるものが正しさなのではないかと思う。
- ・先生の講義で探究する楽しさも知ることができました。あらゆる言葉の意味に疑問を持ちたくさんの物事に対して探究していきたいです。
- ・私は多数決があまり好きではありません。マイノリティーの意見が悪いって思われちゃうのが昔から嫌でした。今までの学校生活で多数決は幾度となく行われてきたのですが、皆が納得するような答えにはたどり着けなかったです。「少数派は全部悪いわけではない、少数派にも目を向け正しい答えを見つけていく」という考えはとても良いと思いました。自分もそうしようと思います！
- ・「進撃の巨人」と言う漫画は今回の政治学に通ずる点があると知った。「絶対的正義は存在しないが絶対的正義を見つけようと努力する事は大事だ」と学んだ。それを探究しようと思いました。
- ・アメコミヒーローの映画を見る時も、「そのヒーローが考える正義と、他の登場人物が考える正義」をよく考えながらみようと思いました。今回の講義はとても難しく、そして面白い講義でした。



本校生徒からの質問